

平成30年第1回（2月）瀬戸内市議会定例会

教育委員会行政報告

市長の行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

行政報告に入る前に、学校教育、社会教育の主な課題について申し上げます。

学校教育においては、学力向上、生徒指導、道徳や小学校における外国語の教科化を始めとした教育活動の充実を図るため、各学校における授業改善や教員の指導力向上に取り組む必要があります。

また、学校における働き方改革については、各学校内の業務改善、部活動の適正化などに取り組んできましたが、子どもと向き合う時間を確保し効果的な教育活動を行うためにも、さらに推進する必要があります。

社会教育においては、スポーツ施設の利用者の利便性向上を図るために、昨年度策定した「みんなでつくる瀬戸内市の子育て広場基本構想」も踏まえた環境を整備するための検討を進める必要があります。

なお、これらの課題への対応のためには所要の措置を講じる必要があるため、今議会に議案を提出しています。

以上を申し上げ、行政報告に移らせていただきます。

○ 日本遺産認定申請について

日本遺産は、地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを日本遺産として文化庁が認定するものです。

全国屈指の日本刀の生産地として知られている瀬戸内市と岐阜県関市は、500年以上にわたり日本刀の制作技術が継承されています。このたび、平成30年度の日本遺産認定に向けて岐阜県関市との共同により「鋼と炎の芸術「日本刀」の聖地～関・長船～」として申請を行いました。なお、日本遺産の認定については4月末に発表される予定となっています。

○ 邑久中学校大規模改造工事の進捗状況について

今年度着手している北棟の大規模改造工事は今年5月の完成に向けて現在、計画どおり順調に進んでいます。夏季休業期間中には仮設校舎から引越しを行い、2学期から本校舎での授業を実施することとしています。今後も学校との連絡調整を密にし、学校の教育活動への影響や生徒の安全に十分留意しながら着実に進めていきます。

○ 夢二のふるさと芸術交流プロジェクトについて

今年度創設した第1回夢二コンクールに、全国から声楽部門（独唱）、楽器部門（フルート）に併せて45名の応募があり、第1次、第2次予選を経て1月14日に本選が開催され、それぞれの部門の入賞者に対し賞状と記念品が授与されました。

また、コンクール創設の周知及び市内の地域文化の向上を目的としたプレミアムコンサートや、学校・施設等でのコンサートについても今年度の事業を無事終了したところです。

なお、今年度はプロジェクト全体で約6,000人の皆さまに参加いただきました。このプロジェクトは市民との協働による実行委員会によ

り運営されており、来年度の開催についても準備を開始しています。

○ 邑久学校給食調理場について

邑久学校給食調理場の調理・配送・洗浄業務については平成30年4月から業務委託を行うこととしており、応募があった事業者について、プロポーザルによる審査を実施した上で、平成29年12月28日に委託契約を締結し、来年度に向けて準備を進めているところです。

今後も委託業者との綿密な打合せ・連携により、安全で安心な学校給食の提供を行っていきます。

○ 備前長船刀剣博物館について

博物館では、2月18日から4月22日まで、テーマ展「蘇った赤羽刀」を開催中です。

本博物館が所蔵している赤羽刀は107口^{ふり}あり、そのうち57口は備前の銘のある日本刀です。今回のテーマ展では、再び輝きを取り戻した鎌倉時代中期の福岡一文字派である吉房^{よしふさ}の太刀や、戦国時代を代表する備州長船勝光^{びしゅうおさふねかつみつ}や戦国時代から江戸時代に繁栄した祐定^{すけさだ}の刀など、備前刀を中心とした赤羽刀約40口を展示しています。

○ 瀬戸内市立美術館について

美術館では、2月17日から3月11日まで「闇に黙せず 宮崎郁子ーエゴン・シーレとともにー」を開催しています。県内在住の宮崎郁子氏は、19世紀末ウィーンの画家 エゴン・シーレの作品を主題として制作活動をしている人形作家です。宮崎氏が時空を越えてシーレに寄り添

い、モデルたちに触れ、対話するように形作られる等身大の人形造形の良さをご覧いただけます。この企画は、美術館が継続して取り組む、新進作家を取り上げ、応援して進めているものです。

3月17日から4月15日にかけては、「国吉康雄展－ここは、わたしの遊び場－」を開催します。岡山県出身の画家・国吉康雄氏の作品約40点を福武コレクションの中から展示します。国吉氏の研究・顕彰を行う岡山大学大学院教育学研究科 国吉康雄研究講座を中心とする“国吉康雄プロジェクト”の一環として開催する展覧会です。

また、瀬戸内市協働提案事業として行ってきた対話型鑑賞会を中心とした「アートでひろがれ！瀬戸内市」も、多くの展覧会に付随する形で開催し、1月19日・26日には牛窓中学校全学年の生徒に対して対話型鑑賞を中心とした美術プログラムを実施することができました。このような対話型鑑賞プログラムは県内でも稀で、今後はより発展させた形で、瀬戸内市の文化色豊かなまちづくりを目指しています。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

平成30年2月21日

瀬戸内市教育委員会

教育長 柴崎 伸次